



花乱れ咲く 柏陽

恵庭市立柏陽中学校 校長室から

令和6年 10月7日(月) 11号

校長 前田 真志

<第44回柏陽祭終える！>

柏陽祭当日は、前日からの雨でグラウンドに自家用車を駐車できないため、保護者・地域の皆様に「徒歩」での御来校をお願いしました。多くの皆様の御協力に感謝申し上げます。

柏陽中の伝統である合唱が、どのように仕上がってくるのか未知数でしたが、各学級の取組や学年の成長が見て取れる素晴らしい1日になりました。

開会式では、テーマやシンボルマーク（美術部によるステージバック）の紹介、その後美術部のショートムービーがありました。合唱部の4曲も聴き応えがあり、両部活動が大いに盛り上げてくれました。

また、職員室廊下前には、せせらぎ学級の貼り絵が掲示されました。。生徒が時間をかけた作業が手に取るようにわかるものでした。

学級による合唱コンクールは、実に内容のあるものでした。音楽科や伴奏を引き受けていただいた先生2名、さらには学級担任や学年の先生方の支援を元に、生徒一人一人が今年の歌を作りあげたといえます。

1年生は、学級単位での発表に緊張感もありながら、明るい表情が増えた歌声でした。

2年生は 緻密に、曲への思いが表現されていました。大きな成長です。

3年生は 最高学年として昨年度を上回る歌を届けてくれました。学年通信「道」や各学級の通信によって、集中力が高まっていた様子が見ええました。コンクールなので、結果として賞の違いはあったものの、その取組はまさに最高学年として素晴らしいと感じます。

午後は、生徒会による企画「オールスター感謝祭 in 柏陽中」が行われました。1年生「イントロクイズ」、2年生「一番大きな声を出せるのは誰?」、3年生「一番根性がある人は誰?」とよりどりみどりの生徒アイデア種目。さらに、「サビだけ歌うま王決定戦」には、各学年の先生方が工夫を凝らし参加し、会場の生徒は大爆笑、保護者の方に参加いただいたトイレトーパー早巻き大会では、その速さに驚きの声が上がっていました。昨年度から賛助いただいているPTA役員の方には、景品のプレゼンターを務めていただき、楽しい時間を生み出すことができました。

閉会式後には、全校生徒で「花のふるさと」を、肩を組み歌い上げました。新たな伝統となる取組だったと感じます。

柏陽祭テーマにもなっている「アルバム」という思い出に残る一コマを、生徒、教員、保護者、地域の皆様と実現できことをうれしく思います。

今後とも、保護者・地域の皆様の参加型行事を推進して参ります。引き続き変わらぬ御支援をお願い申し上げます。ありがとうございました。

